

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月11日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL <http://www.kc-s.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 粉山 政彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 営業本部長兼最高財務責任者 (氏名)川瀬 康平 TEL (06)6222-7474

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,670	△3.8	△36	—	△54	—	△75	—
22年3月期第2四半期	1,736	△15.6	△55	—	△51	—	△41	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	△15	70	—	—
22年3月期第2四半期	△8	67	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第2四半期	5,049		3,660		72.5		756	56
22年3月期	4,839		3,799		78.5		784	98

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,660百万円 22年3月期 3,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
23年3月期(予想)	—	—	—	10 00	10 00

(注) 当四半期における配当予想の修正の有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,486	△0.8	△3	—	△30	—	△57	—	△11	95

(注) 当四半期における業績予想の修正の有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	5,160,000株	22年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

23年3月期2Q	321,281株	22年3月期	320,310株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期2Q	4,839,117株	22年3月期2Q	4,839,690株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州に端を発した金融情勢不安等はありませんでしたが、国内景気は着実に自律的回復傾向を続けておりましたが、期間末にかけて減速感が増し、また高失業率が解消しないなど総じて先行き不透明かつ厳しい環境が継続しました。企業の景況感においても、円高やエコカー補助金打ち切りによる反動減等将来に対する不安感が拭えず、低金利ではあるものの積極的な投資に踏み切れない状態が続いております。

ビジネスフォーム業界におきましても、オフィスのデジタル化の加速やコスト削減による総需要の減少等、縮小する市場下での需給ギャップに起因する価格競争の激化等、きわめて厳しい環境が継続しております。

このような環境の中で、当社は、成長を続ける通販業界や既存取引先の窓口拡大による需要掘り起し、中央官庁をはじめ市区町村、外郭団体などの開拓を中心に活動いたしました。

生産部門におきましては、生産ボリュームが増えない中でより一層の生産効率の向上や内製化促進による固定費吸収に注力するとともに、新製品の開発活動にも注力いたしました。

以上の結果、業績につきましては、総需要の減少の影響を受け当第2四半期累計期間の売上高は1,670百万円（前年同期比3.8%減）にとどまり、経常損失54百万円（前第2四半期は51百万円の経常損失）、四半期純損失75百万円（前第2四半期は41百万円の純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気低迷による総需要の減少、価格競争の激化の影響により、売上高1,049百万円、セグメント利益は114百万円の損失となりました。

② 情報処理事業

金融関連の需要減の影響はありましたものの、幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました結果、売上高621百万円、セグメント利益は78百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末と比べ359百万円増加し、2,755百万円となりました。これは主に現金及び預金が279百万円、有価証券が60百万円増加したことによるものです。固定資産は前事業年度末より148百万円減少し、2,294百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる投資有価証券が117百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ330百万円増加し、1,118百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ18百万円増加し、270百万円となりました。これは主に「固定負債 その他」（主としてリース債務）が20百万円増加したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ138百万円減少し、3,660百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により39百万円、財務活動により288百万円の収入となりましたが、投資活動により43百万円の支出となった結果、前事業年度末より279百万円増加し1,775百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは税引前四半期純損失66百万円、減価償却費106百万円、投資有価証券評価損41百万円等が大きな収支要因となり、39百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは無形固定資産の取得による支出39百万円、保険積立金の積立による支出10百万円が主たる支出要因となり、43百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の増加額360百万円と配当金の支払額48百万円を主たる収支要因として、288百万円の収入となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績見通しにつきましては、売上高は3,486百万円、営業損益は3百万円の損失、経常損益は30百万円の損失、当期純損益は57百万円の損失を見込んでおります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、平成22年11月9日公表の当社「業績予想の修正のお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ400千円増加し、税引前四半期純損失は、4,559千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,945,719	1,666,039
受取手形及び売掛金	557,650	555,479
有価証券	62,899	2,209
商品及び製品	51,024	43,962
仕掛品	15,008	15,973
原材料及び貯蔵品	26,654	26,647
その他	96,627	85,941
貸倒引当金	△118	△117
流動資産合計	2,755,465	2,396,136
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	525,792	551,482
土地	539,125	539,125
その他(純額)	635,572	667,582
有形固定資産合計	1,700,489	1,758,190
無形固定資産	108,643	85,819
投資その他の資産	485,304	599,008
固定資産合計	2,294,438	2,443,018
資産合計	5,049,903	4,839,155
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,657	160,355
短期借入金	780,000	428,000
未払法人税等	7,640	10,722
賞与引当金	47,771	41,187
その他	131,105	147,238
流動負債合計	1,118,174	787,503
固定負債		
退職給付引当金	32,471	36,455
役員退職慰労引当金	19,947	17,282
その他	218,544	198,864
固定負債合計	270,964	252,603
負債合計	1,389,138	1,040,107

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,353,881	1,478,241
自己株式	△80,126	△79,948
株主資本合計	3,673,059	3,797,597
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,294	1,449
評価・換算差額等合計	△12,294	1,449
純資産合計	3,660,765	3,799,047
負債純資産合計	5,049,903	4,839,155

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,736,945	1,670,881
売上原価	1,348,422	1,280,218
売上総利益	388,523	390,663
販売費及び一般管理費	443,991	427,429
営業損失(△)	△55,467	△36,766
営業外収益		
受取利息	2,355	1,826
受取配当金	713	1,004
保険解約返戻金	5,051	—
受取賃貸料	3,448	—
助成金収入	—	16,319
その他	4,895	8,352
営業外収益合計	16,464	27,503
営業外費用		
支払利息	2,556	7,090
投資有価証券評価損	9,241	33,695
その他	1,133	4,369
営業外費用合計	12,930	45,155
経常損失(△)	△51,933	△54,418
特別利益		
固定資産売却益	—	5,622
貸倒引当金戻入額	945	—
保険解約返戻金	29,936	—
退職給付制度終了益	1,347	—
特別利益合計	32,229	5,622
特別損失		
固定資産除却損	1,878	—
投資有価証券売却損	1,895	—
投資有価証券評価損	1,781	7,343
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,159
本社移転費用	6,390	—
損害賠償金	—	5,944
その他	—	405
特別損失合計	11,945	17,851
税引前四半期純損失(△)	△31,649	△66,648
法人税、住民税及び事業税	4,227	4,305
法人税等調整額	6,099	5,009
法人税等合計	10,326	9,315
四半期純損失(△)	△41,976	△75,963

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	821,853	783,238
売上原価	619,473	604,495
売上総利益	202,379	178,743
販売費及び一般管理費	211,270	210,001
営業損失(△)	△8,890	△31,258
営業外収益		
受取利息	2,006	442
受取配当金	132	242
受取賃貸料	1,670	—
助成金収入	—	8,031
その他	1,833	5,466
営業外収益合計	5,642	14,182
営業外費用		
支払利息	1,343	3,660
投資有価証券評価損	9,241	18,442
その他	1,033	2,304
営業外費用合計	11,618	24,408
経常損失(△)	△14,866	△41,483
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	3
退職給付制度終了益	1,347	—
特別利益合計	1,360	3
特別損失		
固定資産除却損	798	—
投資有価証券売却損	237	—
投資有価証券評価損	1,781	372
損害賠償金	—	5,944
特別損失合計	2,817	6,316
税引前四半期純損失(△)	△16,323	△47,796
法人税、住民税及び事業税	2,153	2,152
法人税等調整額	16,382	8,308
法人税等合計	18,536	10,460
四半期純損失(△)	△34,860	△58,257

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△31,649	△66,648
減価償却費	114,624	106,917
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△864	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,872	6,584
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,930	△3,984
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△354,250	2,665
受取利息及び受取配当金	△3,068	△2,831
支払利息	2,556	7,090
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△5,622
有形固定資産除却損	1,878	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1,895	—
投資有価証券償還損益(△は益)	—	23
投資有価証券評価損益(△は益)	11,023	41,038
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,159
保険解約損益(△は益)	△29,936	74
売上債権の増減額(△は増加)	△46,298	△2,170
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,821	△6,103
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,115	△8,698
その他	21,185	△23,195
小計	△343,901	49,300
利息及び配当金の受取額	1,547	4,115
利息の支払額	△2,934	△7,059
法人税等の支払額	△4,465	△8,611
法人税等の還付額	4,825	1,344
営業活動によるキャッシュ・フロー	△344,928	39,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20,000	—
有価証券の売却による収入	8,728	—
有形固定資産の取得による支出	△35,005	△5,395
有形固定資産の売却による収入	—	8,142
無形固定資産の取得による支出	△21,900	△39,009
投資有価証券の取得による支出	△100,499	△495
投資有価証券の償還による収入	—	1,963
保険積立金の積立による支出	△9,775	△10,778
保険積立金の払戻による収入	338,288	1,760
その他	22,581	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	222,417	△43,992

カセココンピュータサプライ(株)(7851) 平成23年3月期第2四半期決算短信(非連結)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	360,000
長期借入金の返済による支出	△10,000	△8,000
自己株式の取得による支出	—	△177
リース債務の返済による支出	△6,116	△14,986
配当金の支払額	△48,398	△48,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,515	288,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△321	△3,837
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△237,347	279,679
現金及び現金同等物の期首残高	1,629,686	1,496,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,392,339	1,775,719

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ビジネスフォーム事業	792,844	—
情報処理事業	621,506	—
合計	1,414,351	—

(注) 1 金額は、製造原価(販売価格)によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ビジネスフォーム事業	812,934	—	89,093	—
情報処理事業	621,506	—	—	—
合計	1,434,440	—	89,093	—

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ビジネスフォーム事業	1,049,375	—
情報処理事業	621,506	—
合計	1,670,881	—

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)	313,310	18.0	187,840	11.2

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。